

令和5年度 第2回神戸市市民福祉調査委員会成年後見専門分科会 議事要旨

- ◇ 日 時 令和6年3月12日（火） 14時00分～15時00分
- ◇ 場 所 神戸市役所1号館8階大会議室
- ◇ 報 告 (1) 神戸市における成年後見制度等の利用状況について
(2) 市民後見人候補者の養成について
- ◇ 協議事項 中核機関における協議会の設置について

◇ 主な意見

1. 報告(1) 神戸市における成年後見制度等の利用状況について

○後見開始後の送付先変更等の窓口一元化の進捗状況はどうなっているか。

●関係部局と話を続けている状況だ。アナログ的に作業するのは人間的にも難しいため、ITを活用して窓口一元化ができるようにしたいとは考えている。一番望ましいのは、区役所のどの窓口書類を出しても対応できるというものだが、件数は1,000もないくらいの見込であるため、そのような体制は難しいという結論が区役所の担当部署から出ている。

また、IT活用についてデジタル戦略部と相談しており、IT活用案が2つ出ている。1つがe-KOBEでオンライン申請を行うもので、もう1つがどこかの窓口が申請を受け取り、Kintone等を活用し、関係部署に情報を流すというものである。実現可能か、人員が足りるのかを含め、具体的にどの手段が最適であるかを検討中だ。

2. 報告(2) 市民後見人候補者の養成について

意見なし

3. 協議事項 中核機関における協議会の設置について

○専門家が1時間以上定期的に集まるのに無報酬というのはいかかなものか。充実した中身にするためにも、然るべき予算をつける必要があるのではないか。

●この度、協議会のベースとなっているのが、現在実施している「神戸市成年後見関係団体情報交換会」である。この会は各関係団体の抱える課題や、現在の状況等を意見交換していただき、それを各団体の今後の業務に役立て、更には地域で連携したネットワー

クを構成していく場である。この会をベースとしている協議会は、神戸市から諮問して何らかの事項を決定、行政の取り組みに反映するという「専門分科会」とは異なり、フラットな場で意見交換をしていただく自発的な場という位置付けであるため、報酬を出すことは協議会の趣旨にそぐわないと考えている。

ただし、報酬が発生する専門分科会と同日開催をして、皆様への負担ができる限り少ない形で実施したいと思っている。

○協議会の主体は神戸市ではないのか。

●主体は神戸市で、事務局は成年後見支援センターである。

○設置目的の連携・情報共有というのは理解できるが、結局、協議会を開催して得られる結果は何なのか。各団体が議論した結果、連携ができるようになった後、それをどのように動かしていくのか。

●まず、協議会は何らかの事項を決定する場ではないため、会の成果物を市ホームページ等で公表するようなものではないということが前提である。そのため、会の内容は非公開で考えており、守秘義務等も設ける形になっている、あくまでも自由な意見交換の場と考えていただきたい。

そのため、協議会を開催したからといって必ずしも成果物を出す必要はなく、ご指摘いただいたように中途半端ところはあると思う。

○各団体から様々な話を聞き、自分でもある程度アウトプットをすることを通して、各団体の課題の解決策を勉強したり、協議会以外のところでも協力し合える関係を作ったりするためのプラットフォームのような場という認識で間違いないか。

●そのとおりである。

○開催頻度が「年1回で1時間程度」で、テーマも曖昧で、成果を出す必要もなく、1年後に何か変わるかどうか分からないというのはどうなのか。

●開催回数について、来年度は、準備会と第1回の協議会の2回開催を考えており、まずは（準備会を含めずにいうと）年1回開催という形で始めたいと考えている。ただし、令和7年度以降の協議会の開催回数については、来年度に実際にやってみた上で協議会メンバーの意見を伺っていきたい。

中身については、具体的にどのような事例を扱うのか、事例の抽出方法等を第1回の協議会に検討できれば良いと思っている。

○神戸市の弱いところは、地域包括と行政の連携が弱いところだと思う。神戸市では、成

年後見支援センターが中核機関として、成年後見分野の司令塔機能を担うと言っても、完全な連携を取ることが現状では難しい。この連携を取るための仕組みづくりのための協議ができる場として「協議会」は大きな意味を持つと思う。1年に1回の議論の時間を、細かいケースの検討に使ってもそれが連携に繋がるのかというのは疑問がある。

- 協議会で取り扱う議題についても、引き続き検討させていただく。
- 例えば、協議会で出た制度運用上や組織運営に関する意見を行政機関に提言できれば良いのではないか。ここまでは各関係団体、地域でフォローするが、行政としてこういう支援をしてほしいという意見まで出すことができると良いと思う。
- 各団体からの提言を協議会の議題とすることもできれば良いと考えている。また、議論の結果を行政へ提言する必要があるという結論になった場合は、当分科会の議題とする、または、市の方で持ち帰り、権利擁護施策に反映させていく等の対応をさせていただく。
- 協議会での議題は、神戸市の中核機関である成年後見支援センターの事業運営がメインとなるのか。
- 議論する対象の1つではあるが、それだけではなく、幅広い意見交換の場と捉えていただきたい。